

委員 井上隆司、岡村康司、久保義弘、樽野陽幸、鍋倉淳一、
日比野浩、松岡達、宮田麻理子、柚崎通介

報告事項 委員会報告の形式から逸脱した箇所もあるが、今期の国際交流活動について記す。

1. 第 95 回日本生理学会大会(高松)における国際交流関連シンポジウムの企画 (再掲載)

FAOPS2019 (Kobe) 前の最後の大会であることを踏まえ、第 95 回大会において特例的に下記 4 件を実施する。学会本体の予算から、招待講演者一人につき 15 万円を上限として、旅費、滞在費の支援を行う。

(1) Japan-China (CAPS) Symposium -Towards FAOPS2019- [3/28, 9:00-10:50, 大ホール]

“From Neuronal Circuits to Behavior”

Chairs: Dr Ayako Watabe (Jikei Univ) & Dr Minmin Luo (Tsinghua Univ)

Speakers: Dr Minmin Luo (Tsinghua Univ) **PSJ 招待**

Dr Ayako Watabe (Jikei Univ)

Dr Haruhiko Bito (Univ Tokyo)

Dr Toshihisa Ohtsuka (Yamanashi Univ)

(2) Japan-Australia (AuPS) Symposium -Towards FAOPS2019- [3/29, 16:10-18:00, 大ホール]

“Recent advances in physiology/pathophysiology of Ca dynamics and signaling
in skeletal, cardiac and smooth muscles”

Chairs: Dr Ryuji Inoue (Fukuoka Univ) & Dr Bradley Launikonis (Univ Queensland)

Speakers: Dr Bradley Launikonis (Univ Queensland) **PSJ 招待**

Dr Nagomi Kurebayashi (Juntendo Univ)

Dr Hikaru Hashitani (Nagoya City Univ)

Dr Aya Yamamura (Aichi Medical Univ)

(3) Japan-Taiwan (CPS) Symposium -Towards FAOPS2019- [3/30, 8:30-10:20, 大ホール]

“Integrated Understanding of Gastrointestinal Physiology
--- Microbiome, Motility and Membrane Transport”

Chairs: Dr Hideki Sakai (Univ Toyama) & Dr Linda Chia-Hui Yu (National Taiwan Univ)

Speakers: Dr Linda Chia-Hui Yu (National Taiwan Univ) **PSJ 招待**

Dr Hideki Sakai (Univ Toyama)

Dr Shinji Fukuda (Keio Univ)

Dr Shinsuke Nakayama (Nagoya Univ)

(4) Japan-Korea (KPS) Symposium -Towards FAOPS2019- [3/30, 14:00-15:50, 大ホール]

“Exquisite mechanisms for sensing and orchestrating mechanical signals”

Chairs: Dr Satomi Akahane (Toho Univ) & Dr Sun-Hee Woo (Chungnam National Univ)

Speakers: Dr Sun-Hee Woo (Chungnam National Univ) **PSJ 招待**

Dr Kimiko Yamamoto (Univ Tokyo)

Dr Gentaro Iribe (Okayama Univ)

Dr Hisao Yamamura (Nagoya City Univ)

2. オーストラリア生理学会 (AuPS) 大会での AuPS-PSJ 合同 シンポジウム

AuPS 2017 大会 (2017 年 11 月 19-22 日、メルボルン)において、“Skeletal Muscle Physiology” 分野の AuPS-PSJ 合同シンポジウムが開催された。PSJ から、村山尚先生(順天堂大・医)、および原雄二先生(京都大・工)が招待講演者として講演を行い、また、FAOPS2019 の宣伝活動を行った。

3. イラン生理学・薬理学会大会での招待講演

イラン生理学・薬理学会 (ISPP) の 23th Congress of ISPP (2018 年 2 月 15 日-18 日、Chabahar、イラン)に、鍋倉淳一先生(生理研、FAOPS2019 大会長)と加藤総夫先生(慈恵医大、同副大会長)が招待され、特別講演を行い、また、FAOPS2019 の宣伝活動を行った。(現時点では予定です。)

4. Europhysiology 2018

英国生理学会、スカンジナビア生理学会、ドイツ生理学会、およびヨーロッパ生理科学連合の合同主催で、Europhysiology 2018 と題した生理科学の学会が、2018 年 9 月 14 日-16 日にロンドンにて開催される。スケールファクターを増して充実した学会大会にするための新しい試みであり、ヨーロッパの多くの国の生理学会が協力して主催する IUPS2025 を視野にいたした活動であると思われる。その参加登録サイト (<https://www.europhysiology2018.org/>) がオープンしたため、日本生理学会員に対し、参加を呼びかけるメールを送信した。

来年度事業計画、その他

高松大会にて、両大会長のご理解をいただいて、また、生理学会からの旅費支援をいただいて、4 件もの国際連携シンポジウムを開催させていただけることを大変ありがたく思っている。企画は、これまで同様、すべて各国の生理学会と正式にコンタクトして進め、学会間の国際連携のためのパイプ構築に努めた。なお、次大会となる FAOPS2019(第 96 回 PSJ 大会)では、国際交流委員会による企画は予定していない。

以下のように、過去の KOJACH(日中韓)シンポジウムを拡大して、FAOPS 加盟国を相手国とした以下のシンポジウムを国際交流委員会として企画してきた。日中韓、日中(第 90 回、東京)、日中、日韓(第 91 回、鹿児島)、日中、日韓(第 92 回、神戸)、日中、日韓、(日 Au)(第 93 回、札幌)、日中、日韓、日台(第 94 回、浜松)、日中、日韓、日台、日 Au(第 95 回、高松)。FAOPS2019 に向けて、また、FAOPS 各国との連携のパイプ構築に役割を果たすことができたのではないかと考えている。

第 97 回大会以降の国際連携シンポジウム等の国際交流活動については、地域や視野を拡げて検討を行いたい。

常任幹事会への提案(議事として諮りたいこととお書き下さい)

無し